

送辞

厳しい冬の寒さがまだ、残りつつも、日差しに暖かさを感じ、桜のつぼみも膨らみはじめ、ようやく春の予感を感じられる季節となりました。

この佳き日に、熊本県立牛深高等学校を卒業される六十四名の先輩方、ご卒業おめでとうございます。在校生を代表して心よりお祝い申し上げます。

今先輩方は、この牛深高校での三年間をどのように振り返っていらっしゃるのでしょうか。三年間の高校生活は、長く、また短くも感じておられることと思います。頑張ったこと、感動したことなど、それぞれが懐かしく思い出されているのではないのでしょうか。私たちもまた先輩方と過ごした日々が鮮やかによみがえり、先輩方への感謝とお別れの寂しさでいっぱいです。例えば、私たちが先輩方と初めてお会いしたのは入学して間もない対面式の時でした。新たな学校生活への期待と不安でいっぱいの人たちを、明るい笑顔と大きな歌声で歓迎してくださいました。あの出会いから今日のお別れに至るまで、学校行事や部活動だけでなく、様々な場面で常に全力で取り組ませる姿はとても素敵で、とてもかっこよかったです。中でも一番思い出深いのは、昨年の文化祭で、先輩方が全員で「美女と野獣」の劇をされたことです。委員会や部活動などで、さまざまな責任ある役割を果たされ、集まって練習する時間も限られる中、脚本から衣装、小道具まで手作りされ、上演された演劇は最高でした。先輩方のパワーと団結力はすごいと感じました。

また、本年度はコロナ禍で、さまざまな学校行事が縮小される中、試行錯誤しながら新しいアイデアを生み出し、楽しみながら、精一杯チャレンジされる先輩方の姿は、私たちのあこがれでした。そのような先輩方を過ごした二年間はとても楽しくもあり、また先輩方の後ろ姿から学び、私たちを大きく成長させてくださいました。本当にありがとうございました。しかし、先輩方とこうして過ごすことができるのも、今日で最後です。この先、先輩方はそれぞれの道を進まれます。目の前には輝かしい未来が開かれています。けれども、その道は決して平坦なものばかりではないかもしれません。辛いことや悲しいことがあり、挫折を経験するかもしれません。ですが、先輩方には三年間、共に笑い、共に苦しみを乗り越えた仲間がいます。いつも側で支えてくれた保護者の方がいます。なにより、牛深高校で過ごした三年間の思い出があります。それらを胸に困難を乗り越えていってください。私たちが在校生はまだまだ未熟ではありますが、先輩方がこれまでに築いて来られた伝統を受け継ぎ、さらに磨きをかけて牛深高校をもっと発展させていきます。ご卒業後も、本校を訪ね、元気いっぱいな先輩方の素敵な笑顔を見せてください。

最後になりますが、先輩方のご健康と、さらなるご発展を心よりお祈り申し上げます、在校生代表の送辞とさせていただきます。

令和三年三月一日

在校生代表 村田唯